

**令和4年度
全国学力・学習状況調査 結果概要**

熊本県教育委員会

1 調査の概要

■ 調査実施日 令和4年（2022年）4月19日（火）

■ 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

■ 調査の対象

- ・ 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年の全児童
- ・ 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全生徒

■ 調査の内容

- ・ 教科に関する調査（小学校：国語・算数・理科、中学校：国語・数学・理科）
- ・ 質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

2 教科に関する調査の結果（公立小中学校）

本県の概要

- ・ 小学校では、**国語と理科は全国平均とほぼ同じ状況であり、算数は全国平均を下回っている。**
- ・ 中学校では、**理科は全国平均とほぼ同じ状況であり、国語と数学は全国平均を下回っている。**

| | 【小学校6年生】 | | |
|-----|----------|-------|-------|
| | 国語 | 算数 | 理科 |
| 熊本県 | 65% | 62% | 63% |
| 全国 | 65.6% | 63.2% | 63.3% |

| | 【中学校3年生】 | | |
|-----|----------|-------|-------|
| | 国語 | 数学 | 理科 |
| 熊本県 | 68% | 49% | 49% |
| 全国 | 69.0% | 51.4% | 49.3% |

※表中の数値は平均正答率（%）、県の値は国から整数値で公表

2 教科に関する調査の結果（各管内等）

| | 【小学校6年生】 | | | 【中学校3年生】 | | |
|------|----------|------|------|----------|------|------|
| | 国語 | 算数 | 理科 | 国語 | 数学 | 理科 |
| 全国平均 | 65.6 | 63.2 | 63.3 | 69.0 | 51.4 | 49.3 |
| 県平均 | 65 | 62 | 63 | 68 | 49 | 49 |
| 宇城 | 67 | 64 | 64 | 68 | 49 | 48 |
| 玉名 | 67 | 64 | 66 | 67 | 46 | 47 |
| 菊池 | 65 | 61 | 63 | 68 | 48 | 49 |
| 阿蘇 | 65 | 61 | 66 | 68 | 48 | 51 |
| 上益城 | 61 | 58 | 60 | 67 | 45 | 48 |
| 八代 | 62 | 60 | 61 | 67 | 46 | 48 |
| 芦北 | 61 | 57 | 61 | 68 | 47 | 48 |
| 球磨 | 64 | 61 | 63 | 67 | 50 | 48 |
| 天草 | 65 | 64 | 66 | 69 | 49 | 48 |
| 山鹿市 | 69 | 64 | 70 | 70 | 47 | 50 |
| 熊本市 | 66 | 62 | 62 | 68 | 50 | 49 |

数値は平均正答率（%）

3 質問紙調査に関する調査の主な結果（公立小中学校）

| | 質問項目 | 小学校 | | | 中学校 | | |
|------|---|------|------|-------|------|------|-------|
| | | 県 | 全国 | 差 | 県 | 全国 | 差 |
| 児童生徒 | 学校に行くのは楽しいと思いますか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合） | 88.4 | 85.4 | +3.0 | 86.0 | 82.9 | +3.1 |
| | 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（「ほぼ毎日」＋「週3回以上」の割合） | 26.8 | 22.5 | +4.3 | 25.4 | 17.8 | +7.6 |
| | 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合） | 88.2 | 87.1 | +1.1 | 88.4 | 86.6 | +1.8 |
| | 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）（「よくしている」＋「ときどきしている」の割合） | 69.3 | 71.1 | -1.8 | 54.7 | 58.5 | -3.8 |
| | 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合） | 74.7 | 77.3 | -2.6 | 73.0 | 79.2 | -6.2 |
| | 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか （「発表していた」＋「どちらかといえば、発表していた」の割合） | 59.4 | 65.4 | -6.0 | 54.3 | 63.3 | -9.0 |
| 学校 | 教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか（「週に1回程度、または、それ以上行った」＋「月に数回程度行った」の割合） | 84.2 | 73.2 | +11.0 | 70.5 | 55.7 | +14.8 |
| | 個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む） （「よくしている」＋「どちらかといえば、している」の割合） | 83.8 | 76.0 | +7.8 | 88.6 | 73.0 | +15.6 |
| | 近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか（「よく行った」＋「どちらかといえば、行った」の割合） | 51.5 | 48.2 | +3.3 | 65.1 | 58.0 | +7.1 |

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

単位(%)

3 質問紙調査に関する調査の結果（特徴的な項目）

■ 全国平均を上回っていた項目

- ・「学校に行くのは楽しい」、「学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、ICT機器を、週3回以上使っている」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- ・「教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行った」、「個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している」、「近隣等の中学校（小学校）と、研究授業を行うなど、合同で研修を行った」と回答した学校の割合が、全国平均を上回っている。

子供たち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障するために取り組んだ成果

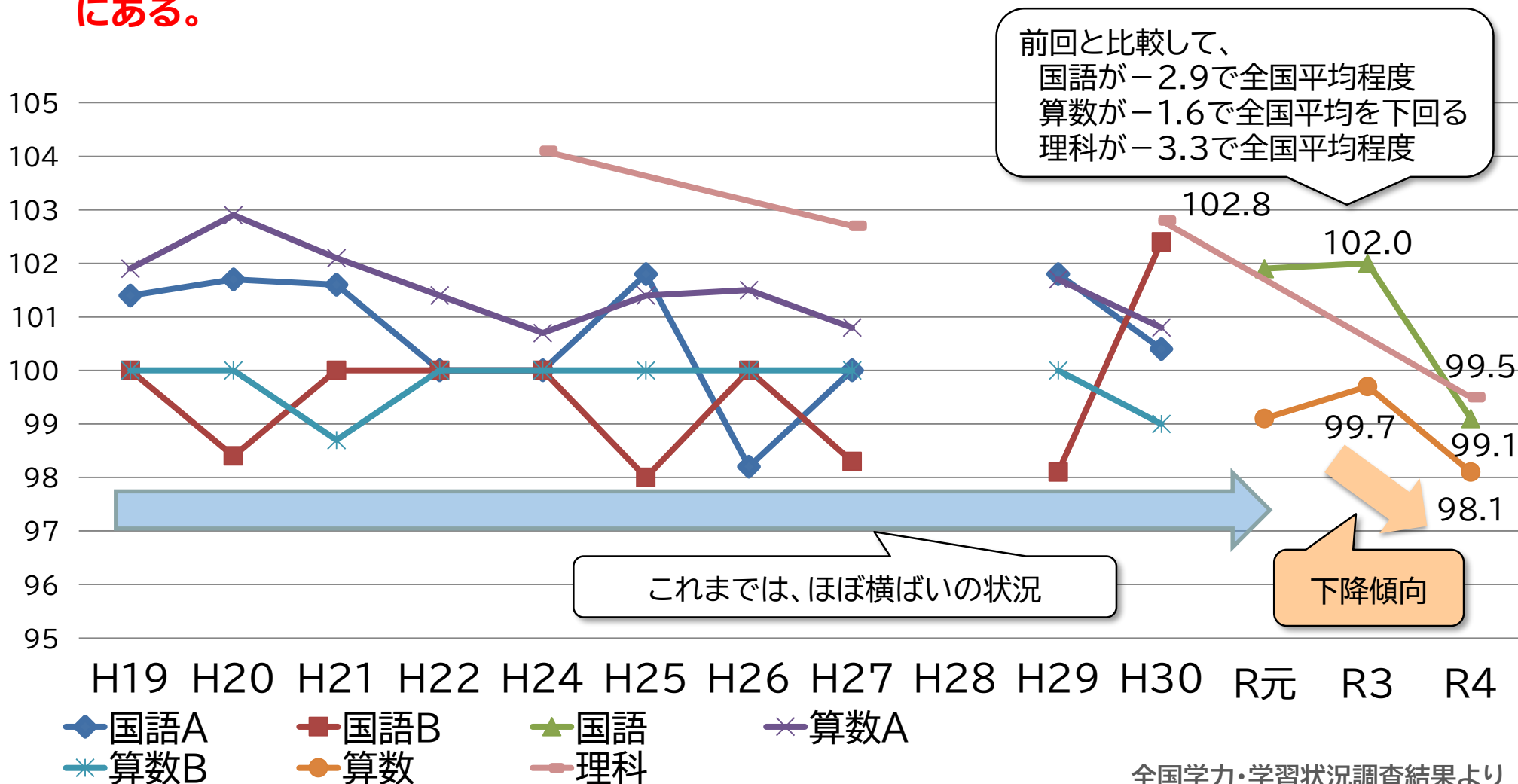
■ 全国平均を下回っていた項目

- ・「家で自分で計画を立てて勉強している」、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」、「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」、と回答した児童生徒の割合が、全国平均を下回っている。

子供たちが主体的に学習に取り組んでいくような授業への転換、子供の学びの側に立った授業改善の取組を更に進めていく必要がある。

参考資料 教科に関する調査の結果の推移①（小学校）H19～

- ・ ほぼ横ばいの状態が続いていたが、本年度は、国語・算数・理科ともに、低下傾向にある。



全国学力・学習状況調査結果より
※H23、R2は、全国的に中止

参考資料 教科に関する調査の結果の推移②（中学校） H19～

・国語・数学・理科ともに、低下傾向にある。

